

春の里山 全身で満喫 鹿沼の親水公園「菜の花交流会」



菜の花畑で昆虫を探す参加者

【鹿沼】中粕尾の和田用水ホタルの里（親水公園）で16日、「菜の花交流会」が開かれた。菜の花畑で親子連れらが自然観察会や山野草摘みなどを楽しんだ。中粕尾水と緑の会と和田用水ホタルの里の会などが都会の人にも里山の魅力を

知ってもらおうと企画。埼玉などの県外組を含め、親子約100人が参加した。自然観察会は菜の花畑でチョウの捕獲のほか、野鳥や植物を調べるのがテーマ。日本自然保護協会観察

自然観察会で昆虫の説明を受ける子どもたち



指導員の渡辺知義さんを講師に招き、最近少なくなってきたスジグロシロチョウと外来種のモンシロチョウとの違いや周辺で見られるチョウの説明などが行われた。山野草摘みもあり、用意していた具材と共に調理して春の味覚を味わった。

中粕尾水と緑の会の若林正夫会長は「中山間地の良さをアピールしよう」と始まり、年々参加者が増えています。子どもたちの笑顔を見ると、これからの自然を守らなくてはという気持ちが強くなる」と話した。（枝村敏夫）